

# 「顔」の美術館

—あの人、この人…さまざまに肖像表現



佐藤忠良「記録をつくった男の顔」

2022  
12.2(金) - 12.18(日)

開館時間: 午前10時から午後5時まで

会期中無休 / 観覧料: 無料

<会場: 大崎市民ギャラリー 緒絶の館(宮城県大崎市古川三日町一丁目1番1号)>

主催: 大崎市教育委員会 / 後援: 河北新報社・大崎タイムス社・大崎市文化協会 / 協力: 宮城県美術館・大衛村ふるさと美術館

関連事業: みんなの「顔」展 —「顔」を描いた作品を募集し、展示します—

ワークショップ 「顔」を描こう! 12月11日(日) ※電話で申込み。先着順。

大崎市民ギャラリー  
を だえ やかた  
緒絶の館  
宮城県大崎市古川三日町一丁目1番1号  
TEL 0229-21-1466



「肖像」と聞いて、何を思い浮かべるでしょうか。写真のない時代から、権力者や英雄などの象徴として、あるいは先祖代々の歴史など、後世に伝える記録としての役割を担ってきた人物画や銅像などの肖像は、ごく身近にあります。記録としての肖像が、今では、家族や友人などの身近な存在を題材に、美術作品として表されることが主流となっています。

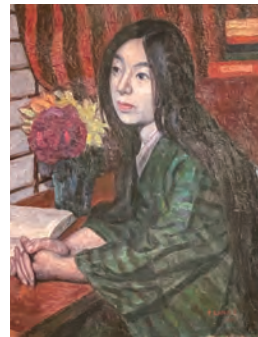
この展覧会では、記録が目的だった肖像が、どのようにして芸術作品として表現されるようになったのかを、彫刻、絵画、写真で紹介し、再現から表現へと変化した肖像の世界をお楽しみください。



b



c



d

- a. 伊藤トオル  
《Artists of Miyagi》
- b. 渡辺亮輔  
《樹蔭》
- c. 佐藤一郎  
《吉野作造像》
- d. 菅野 廉  
《原阿佐緒像》

## 関連事業

### みんなの「顔」展

—「顔」を描いた作品を募集し、展示します—

- 題材** 家族や友人、芸能人など「顔」を描いたもの
- 応募資格** 子どもから大人まで、顔の絵を描ける方ならどなたでも
- 作品内容** ハガキ～A4サイズまで。縦横は自由
- 材料** 紙や布など平面で、画鋏で展示できるもの
- 画材** 油彩、水彩、クレヨン、色鉛筆、パステル、版画、切絵など
- 出品点数** 一人2点まで
- 応募方法** 市民ギャラリーへ郵送または持参。ハガキは直接送付可  
裏面に住所・氏名・年齢(学年)・電話番号・題名(だれを描いたか)を明記。※匿名またはペンネーム等の別表示希望の方はその旨記載
- 募集期間** 11月20日(日)午後5時まで。※郵送の場合は当日消印有効
- 出品料** 無料
- 展示期間** 令和4年12月2日(金)～12月18日(日)午前10時～午後5時

※感染状況により展示期間を変更する場合があります。

### <ワークショップ> 「顔」を描こう!

- 講師** 阿部仁文(あべ ひろふみ)  
南三陸町生まれ。東京造形大学美術学科絵画専攻卒業。東日本大震災で被災し大崎市に一時避難。現在、南三陸町で漁師をしながら作品を制作。個展やグループ展に多数参加。
- 開催日時** 令和4年12月11日(日)  
①10:30～12:00  
②13:30～15:00
- 参加人数** 各回 定員8名
- 参加料** 無料
- 持ち物** 描きたい人の写真、使いたい描画道具
- 申込み** 参加ご希望の方は、市民ギャラリーまで電話にて申し込みください。先着順。

### 地図・交通案内

- JR東北新幹線・陸羽東線古川駅より徒歩約15分、タクシー約5分
- 東北自動車道古川ICより車で約10分
- JR高速バス「古川十日町」下車、徒歩約5分
- 宮城交通高速バス「七日町」下車、徒歩約3分



大崎市民ギャラリー  
を だえ やかた  
**生者色色の食宮**  
宮城県大崎市古川三日町一丁目1番1号  
TEL 0229-21-1466

<新型コロナウイルス感染拡大防止のため下記にご理解とご協力をお願いします。>

マスクの着用・手指の消毒・入館時の検温・会話を控え、他の方と間隔をとってご鑑賞ください。混雑時は入場制限をさせていただく場合があります。